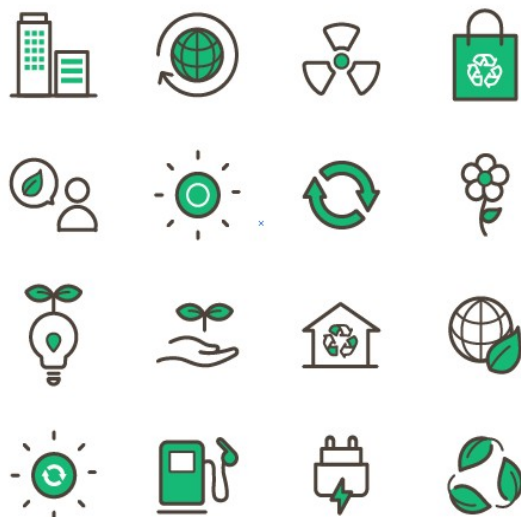


環境経営レポート

活動期間

(2025年8月1日～2026年7月31日)

1. 組織の概要	1頁
2. 対象範囲	2頁
3. 実施体制	3頁
4. 環境経営方針	4頁
5. 和興建清の SDGs への取り組み	5頁
6. 環境経営目標	6頁
7. 環境経営計画及び計画の取組結果と評価	7頁
8. 環境経営目標の実績と評価	8頁
8.1. 次年度の環境経営目標と環境経営計画	9頁
9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	10頁
10. 代表者による全体評価と見直し・指示	10頁



2026年10月1日発行



和興建清株式会社

取組の対象組織・活動

1. 組織の概要

- 1) 名称及び代表者名
和興建清 株式会社
代表取締役社長 長谷川 雄一
- 2) 所在地
本社 神奈川県大和市上草柳3-16-27
現場事務所 神奈川県大和市上草柳5-7-12
座間支店 神奈川県座間市明王13-11
- 3) 環境理責任者氏名及び担当者連絡先
環境理責任者 常務取締役 長谷川 稔
担当者 常務取締役 長谷川 稔
TEL : 090-3247-6974
E-Mail : m-hasegawa@wacoh1967.co.jp
- 4) 事業活動内容
一般廃棄物収集運搬業、産業廃棄物収集運搬業、再生資源収集運搬業、
一般貨物運送業、ビルメンテナンス業、
建設物飲料貯水槽清掃業、浄化槽清掃と維持管理

5) 事業の規模

	2025年度
売上高(百万円)	437百万円
従業員数(人)	58人
床面積(㎡)	1627.8

6) 事業年度 8月～7月

7) 情報公表項目

- (1) 法人設立年月日： 昭和42年9月
- (2) 資本金： 1300万円
- (3) 許可の内容：

許可地区、許可番号、許可区分、廃棄物の種類、(許可年月日、許可の有効年月日)

許可地区	許可区分	許可番号
	産業廃棄物の種類	許可年月日 許可の有効年月日
神奈川県	産業廃棄物収集運搬業(積替え保管を除く)	14-02-007397号
	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラ、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、鋳さい、がれき類、動物ふん尿、動物死体、ばいじん、13号、動物系不要物	令和4年1月13日 令和8年12月31日
神奈川県	特別管理産業廃棄物収集運搬業(積替え保管を除く)	14-52-007397号
	引火性廃油、腐食性廃酸 腐食性廃アルカリ、有害鋳さい、廃石綿等、有害ばいじん、有害燃え殻、有害廃油、有害汚泥、有害廃酸、有害廃アルカリ	令和5年9月6日 令和10年8月27日
大和市	一般廃棄物収集運搬業	103号
	一般廃棄物	令和8年4月1日 令和10年3月31日
座間市	一般廃棄物収集運搬業	4-28号
	一般廃棄物	令和8年4月1日 令和10年3月31日
綾瀬市	一般廃棄物収集運搬業	86号
	一般廃棄物	令和5年7月3日 令和9年7月3日
海老名市	一般廃棄物収集運搬業	70号
	一般廃棄物	令和8年4月1日 令和10年3月31日

大和市	浄化槽清掃業	304号
		令和6年4月1日
		令和9年3月31日
神奈川県	浄化槽保守点検業者の登録	神浄保67号
		令和5年3月31日
		令和10年3月30日
神奈川県	建設物飲料水貯水槽清掃業登録	5貯第28号
		令和6年2月6日
		令和12年2月6日
神奈川県	建設物環境衛生総合管理業登録	19総第14号
		令和2年3月17日
		令和8年3月16日
関東運輸局	一般貨物自動車運送業	関自貨第1547号
		平成22年1月21日

(4) 施設状況：

収集運搬業：運搬車両の種類と台数、積替保管なし

処分業：処理施設の種類、処理する産業廃棄物の種類、処理能力（規模）、処理方式、処理工程図

収集運搬車両	台数	収集運搬車両	台数
塵芥車	16台	糞尿車	2台
清掃車	1台	キャブオーバ	3台
脱着装置付きコンテナ専用車	4台	営業車	4台

(5) 処理実績：環境への負荷の自己チェック、別表②受託した産業廃棄物の処理量)

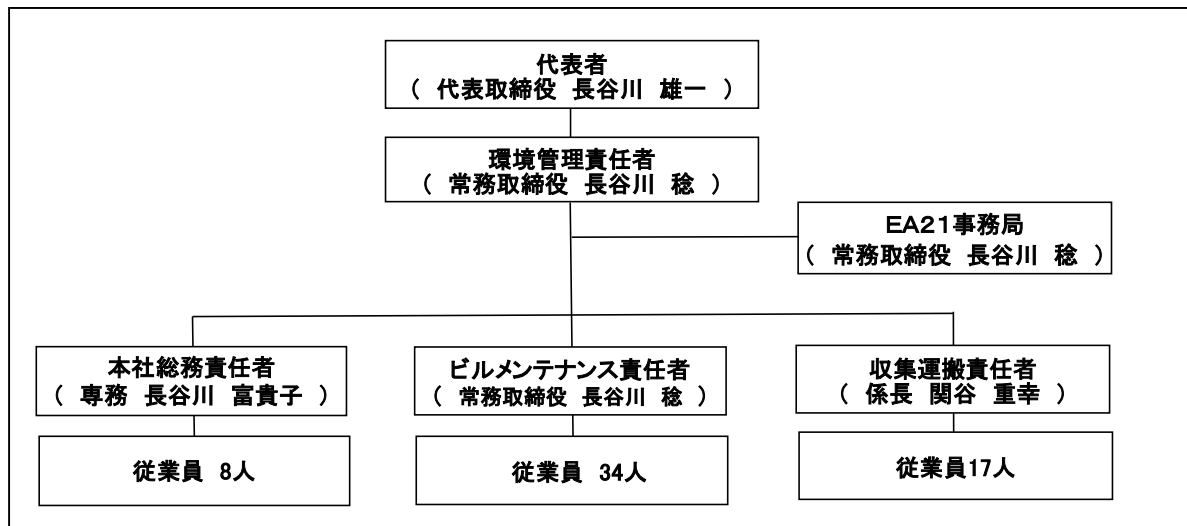
事業年度	種類	収集運搬量(t)
2025年度	産業廃棄物	682.60
	一般廃棄物	2,378.69

2. 対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日

- 1) 対象組織 「1. 2) 所在地」欄に記載
- 2) 活動 「1. 4) 事業活動内容」欄に記載
- 3) レポートの対象期間及び発行日
レポートの対象期間及び発行日は表紙に記載。

3. 実施体制

環境経営実施体制表



役 割	役割り、責任および権限
代表者	1. 取り組みの対象組織・活動の明確化 2. 経営における課題とチャンス の明確化 3. 環境経営方針の作成、全従業員に周知 4. 実施体制の構築 5. 代表者による全体の評価と見直し 6. 環境経営レポートの承認 7. その他
環境管理責任者 (E A 2 1 事務局)	1. 環境負荷と環境への取組状況の把握及び評価 2. 環境関連法規の取りまとめ 3. 環境経営目標及び環境経営計画の策定 4. 環境コミュニケーションの実施 5. 取組状況の確認及び問題の是正及び予防 6. 環境関連文書類の作成・管理 7. 環境経営レポートの作成・公表 8. その他
部門責任者	1. 教育・訓練の実施 2. 実施及び運用 3. 環境上の緊急事態への準備及び対応 4. その他
全従業員	1. 環境経営方針の理解及び環境問題の現状と環境への取組の重要性の自覚 2. 環境経営目標、環境経営計画に基づく E A 2 1 活動の実施



環境経営方針

【 環境理念 】

当社は、環境問題への対応が社会的責務であることを認識し、循環型社会実現のため、全従業員で環境負荷の低減に努め、持続可能な社会づくりに貢献します。

また、知名度の向上とブランディングを行うこと、お客様や地域社会からの信頼度を高めるために、ウイルスの猛威を除去するべく、「接触感染リスクに配慮した、ダイヤニウムコーティング」を実施し、抗ウイルス・抗菌コートを通じた社員の健康に配慮し、働きやすい職場環境の整備を目指します。新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて、お客様、お取引先様、従業員とその家族の安全確保・感染予防と感染拡大の防止を目的に、様々な対応を実施します。

【 企業理念 】

～ **和興**建清株式会社 人の**和**を持って、業を**興**す ～

- 1 使命 私達は、仕事に真心をこめて提供します
- 2 必要 私達は、いつまでも求められる会社でいる
- 3 感謝 私達は、常に有難うの心を持ち気持ちの良い仕事をします

【 行動指針 】

環境経営への取組みに当たっては、以下の重点分野に従って全従業員による環境活動を実施するとともに環境経営の継続的改善を図ることを誓約します。

1. 収集運搬業、ビルメンテナンス業などすべての事業活動において、環境に十分配慮します。
2. 環境関連法規制、条例、協定及びその他の要求事項を遵守し、環境負荷の低減、環境汚染の防止に努めます。
3. 業務の効率化を推進し、省資源・省エネルギー・リサイクル活動を推進します。
 - ①二酸化炭素排出量の削減
 - ・電力使用量の削減
 - ・燃料（ガソリン、軽油）使用量の削減
 - ②廃棄物排出量の削減
 - ③水使用量の削減
 - ④化学物質使用量の適正管理
4. 全従業員に対して環境保全に関する意識付けを行い、日々の業務の中で温室効果ガス排出量の管理および削減の理解促進のため、定期的な研修を実施します。

この環境経営方針は全ての従業員及び、当社のために働く全ての人にも周知徹底すると共に、一般にも公開します。

2021年6月24日

和興建清株式会社

代表取締役 **長谷川 雄一**

和興建清株式会社のSDGsへの取り組み

和興建清株式会社は、一般廃棄物・産業廃棄物の収集運搬業務及びビルメンテナンス業務など、地域社会に密着した事業活動を通じて、より良い社会の実現と持続可能な社会の構築に貢献してまいります。

働きやすい職場環境の取り組み

- ・従業員一人ひとりの意見や要望を把握することで、働きやすい職場づくりに努めています。
- ・熱中症対策として、空調服や冷却用品の支給を行うとともに、気温や作業環境に応じてこまめな休憩時間や水分補給の時間を確保しています。
- ・従業員が安全かつ健康に働けるよう、体調管理の徹底と快適な作業環境の整備に努めています。
- ・社内 DX 化に取り組み働きやすい環境を整えます。
- ・女性や高齢者を含む多様な人材が活躍できる職場環境の整備に取り組んでいます。



環境保全・地域貢献活動

- ・贈答品を社会福祉協議会へ寄与しています。
- ・事業活動を通じて適正な廃棄物処理を推進し、地域の生活環境及び公衆衛生の向上に努めています。
- ・不法投棄監視のパトロールを実施しています。
- ・地域イベントへの積極的な参加や協賛を通じて、地域貢献活動を推進しています。



多様な人材活躍のための取り組み

- ・年齢・学歴・性別等に関係なく、多様な人材を積極的に採用しています。
- ・高齢者の雇用促進と働きやすい環境整備を通じ、すべての年齢層に働きがいのある仕事を提供します。



環境保全の取り組み

- ・省エネ型自動車への切り替えや、エコドライブを推進し CO2 削減に取り組んでいます。
- ・事業所内の節電や省エネルギー活動を推進し、環境負荷の低減に努めています。
- ・パソコンの強制電源断等時間管理をして残業を少なくしています。
- ・徒歩や自転車通勤などの「エコ通勤」を推奨しています。
- ・「電子文書管理の強化により、紙の使用量を削減します。」



6. 環境経営目標

2025年度環境経営目標

作成年月日 2022年10月25日

No	環境方針・目標項目			基準値	CO2 換算係数	年 度 目 標									
				(2024年度)		2025 年度			2026 年度			2027 年度			
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	本社	電力使用量	0.495	基準値に対し	1	%削減	基準値に対し	2	%削減	基準値に対し	3	%削減	
				18,627		18,441			18,254			18,068			
				kWh／年		kWh／年以下			kWh／年以下			kWh／年以下			
			現場	電力使用量		0.495	基準値に対し	1	%削減	基準値に対し	2	%削減	基準値に対し	3	%削減
				0			0			0			0		
				kWh／年			kWh／年以下			kWh／年以下			kWh／年以下		
			合計	二酸化炭素合計		0.495	基準値に対し	1	%削減	基準値に対し	2	%削減	基準値に対し	3	%削減
				9,220			9,128			9,036			8,944		
				kg-CO2／年			kg-CO2／年以下			kg-CO2／年以下			kg-CO2／年以下		
		化石燃料消費量の削減		年間消費量		基準値に対し	1	%削減	基準値に対し	2	%削減	基準値に対し	3	%削減	
			本社	都市ガス<m³>	2.16	87			86			85			
				88		m³／年以下			m³／年以下			m³／年以下			
			現場	0	3.00	0			0			0			
				kg／年以下		kg／年以下			kg／年以下			kg／年以下			
			本社	ガソリン <L>	2.32	2,491			2,466			2,441			
				2,516		L／年以下			L／年以下			L／年以下			
			現場	ガソリン <L>	2.32	0			0.0			0			
				0		L／年以下			L／年以下			L／年以下			
			現場	軽油 <L>	2.58	0			0			0			
				0		L／年以下			L／年以下			L／年以下			
			合計	二酸化炭素合計		5,967			5,907			5,846			
				6,027		L／年以下			L／年以下			L／年以下			
				15,247.6		15,095			14,943			15,248			
			計 (kg-CO₂)	座間支店を含めた合計											
				178,698.0		176,911			175,124			173,337			
				kg-CO₂		kg-CO₂／年以下			kg-CO₂／年以下			kg-CO₂／年以下			
		2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	本社	一般廃棄物排出量		基準値に対し	1	%削減	基準値に対し	2	%削減	基準値に対し	3
565	559					554			548						
kg／年	kg／年以下					kg／年以下			kg／年以下						
現場	0				0			0			0				
	kg／年				kg／年以下			kg／年以下			kg／年以下				
3	水使用量の削減		本社	水道使用量		基準値に対し	1	%削減	基準値に対し	2	%削減	基準値に対し	3	%削減	
				121		120			119			117			
				m³／年		kg／年以下			m³／年以下			m³／年以下			
			現場	0		0			0			0			
				m³／年		kg／年以下			m³／年以下			m³／年以下			
4	化学物質使用量の適正管理		化学物質使用量		基準値に対し	0	%削減	基準値に対し	0	%削減	基準値に対し	0	%削減		
					0			0			0				
			kg／年		kg／年以下			kg／年以下			kg／年以下				
6	産業廃棄物処理業での環境配慮		環境配慮提案件数		基準値に対し	1	%向上	基準値に対し	1	%向上	基準値に対し	1	%向上		
			3		3			3			3				
			件／年		件／年以下			件／年以下			件／年以下				

※二酸化炭素排出係数は令和6年度ワタミエナジー（株）の0.495kg-CO2/kwhを使用した。

2025年12月より現場事務所の一部移転を開始し、2026年4月から本格稼働していることから、使用状況に変化が生じることが想定される。そのため、本年度は移転後の使用実態を把握する期間と位置づけ、1年間の推移を確認したうえで、次年度以降の具体的な目標設定および改善計画を検討する。

7. 環境経営計画及び経営計画の取組結果と評価

No	環境経営方針項目	環境経営目標項目	目標達成手段	責任部門 責任者	施策 実施 状況	計画に基づき実施した取組 内容及び次年度の計画	評価
1	二酸化炭素排出量の削減	1) 電力使用量の削減	①不使用照明の消灯	常務取締役 長谷川稔	■	使用していない照明の消灯等の実施したが、期待した節電効果は得られなかった。新たに省エネルギー性能の高い機器を導入し、電力消費の削減を図り、年間の電力使用量の削減とCO ₂ 排出量の低減を目指す。	○
			②空調の適温化(冷房26、暖房22度)		■		
			③OA機器のセーブモード設定		■		
			④設備機器の定期的メンテナンス実施		■		
			⑤扇風機やヒーターを活用する		■		
			⑥自動制御・タイマー設備の活用		■		
		2) 化石燃料使用量の削減	①エコドライブ10のすすめの徹底	常務取締役 長谷川稔	■	車両の燃費低下を防止するため、定期点検や整備を計画的に実施し、タイヤの空気圧管理やエンジンオイル交換、フィルター清掃などを徹底することで、燃費性能の維持と安全運行の両立を図った。	○
			②省エネ運転の実行		■		
			③車両の点検実施		■		
			④エア圧の適正化点検		■		
			⑤省エネ型自動車への切り替え		■		
			⑥車両以外の交通手段を併用		■		
		CO ₂ 総量計(kg-CO ₂)	①エコドライブ10のすすめの徹底	常務取締役 長谷川稔	■	燃料効率の高い車両への入れ替えを実施し、運行時の軽油消費量を削減。	○
			②省エネ運転の実行		■		
			③車両・点検実施		■		
			④エア圧の適正化点検		■		
			⑤省エネ型自動車への切り替え		■		
			⑥扇風機やヒーターを活用する		■		
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	①分別徹底	専務取締役 長谷川富貴子	■	不要な印刷の抑制や両面印刷の徹底に加え、印刷前の内容確認を徹底し、必要最小限の印刷枚数で業務を行うことを心がける。また、社内でのペーパーレス化を進めることで、紙資源の節約と業務効率の向上を図る。	○
			②空き缶・ボトルの自販機回収		■		
			③裏紙使用で紙使用量の削減		■		
			④使い捨て製品の使用や購入の抑制		■		
			⑤詰め替え用の購入		■		
3	水使用量の削減	水使用量の削減	①節水表示 ②散水は必要最小限 ③洗車は高圧洗浄で節水 ④年に2回漏水点検 ⑤洗剤・石鹸を適量にする	専務取締役 長谷川富貴子	■	必要なタイミングでまとめて洗車を行うことで、無駄な水使用を抑制します。	○
4	化学物質の適正管理	科学物質使用量削減	①適正管理	専務取締役 長谷川富貴子	■	現在使用していない。	○
5	製品の環境性能の向上及びサービスの改善	環境配慮提案件数	①社内(環境)勉強会 ②環境提案の実施	専務取締役 長谷川富貴子	■	収束時間の明確化としての取組に取組んできた。今後は、さらにその精度と利便性を高めるために、ルート最適化に取り組んでいく。	○

施策の実施状況: ■ 実施 △ 1部実施 □ 未実施

評価: ○ 取り組みはよくやられている × 取り組みが不十分

8.環境経営目標の実績と評価

作成年月日 2025年10月9日

No	環境方針・目標項目			基準値	CO2 換算係数	目 標			実績	評価		
				(2024年度)		2025年度						
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	本社	電力使用量	0.495	基準値に対し	1	%削減	16,568	○		
				18,627		18,441						
				kWh／年		kWh／年以下					kWh	
			現場	電力使用量		0.495	基準値に対し	1	%削減	0	○	
				0			0					
				kWh／年			kWh／年以下					kWh
			合計	二酸化炭素合計		0.495	基準値に対し	1	%削減	8,201	○	
				9,220			9,128					
				kg-CO2／年			kg-CO2／年以下					kg-CO2
		化石燃料消費量の削減	本社	年間消費量	2.16	基準値に対し	1	%削減	98	×		
				都市ガス<m³>		87						
				88		m³／3ヶ月以下					m3	
			本社	ガソリン <L>	2.32	2,491			2,479	○		
				2,516		L／年以下			L			
				現場		ガソリン <L>	2.32	0			0	
			現場	0	L／年以下			L				
				現場	軽油 <L>	2.58		0			0	
			現場	0	L／年以下			L				
				二酸化炭素合計			5,967			5,963	○	
			合計	6,027	L／年以下			kg-CO2				
			計(kg-CO₂)	合計	15,248		15,095			14,164	○	
				座間支店を含めた合計								
					178,698			176,911				17,322
					kg-CO₂			kg-CO₂／年以下				kg-CO2
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	本社	一般廃棄物排出量		基準値に対し	1	%削減	539	○		
				565		559						
				kg／年		kg／年以下					kg	
			現場	0		0			×			
		kg／年		kg／年以下			kg					
3	水使用量の削減	本社	水道使用量		基準値に対し	1	%削減	125	×			
			121		120							
			m³／年		m³／年以下					m³		
			現場		0	0			145	×		
		m³／年		m³／年以下			m³					
4	化学物質使用量の削減(現在未使用)		化学物質使用量		基準値に対し	0	%削減	現在未使用				
			0		0							
			kg／年		kg／年以下					kg		
6	産業廃棄物処理業での環境配慮		環境配慮提案件数		基準値に対し	1	%向上	3	○			
			3		3							
			件／年		件／年以上					件		

2025年12月より現場事務所の一部移転を開始し、2026年4月から本格稼働していることから、使用状況に変化が生じることが想定される。そのため、本年度は移転後の使用実態を把握する期間と位置づけ、1年間の推移を確認したうえで、次年度以降の具体的な目標設定および改善計画を検討する。

※二酸化炭素排出係数は令和6年度ワタミエナジー（株）の0.495kg-CO2/kwhを使用した。

8. 1次年度の環境経営計目標と環境経営計画

2025/8～2026/7

No	環境経営方針	環境経営目標項目	環境経営目標	目標達成手段	責任部門 責任者	スケジュール 8月～7月
1	二酸化炭素排出量の削減	1) 電力使用量の削減	電力 使用量 2024年度比 1%削減	①不使用照明の消灯 ②空調の適温化(冷房26、暖房22度) ③OA機器のセーブモード設定 ④退社時や長時間離席時のOA機器の電源OFF ⑤扇風機やヒーターを活用する ⑥自動制御・タイマー設備の活用	常務取締役 長谷川稔	(先達成手段全て)
		2) 化石燃料使用量の削減	都市ガス使用量 2024年度比1% 削減	①温度設定の最適化 ②社員への省エネ教育	常務取締役 長谷川稔	(先達成手段全て)
			ガソリン使用量 2024年度比 1%削減 現場事務所については、当面の間、使用状況の推移を確認する。	①エコドライブ10のすすめの徹底 ②省エネ運転の実行 ③車両の点検実施 ④エアー圧の適正化点検 ⑤積極的な自転車での移動 ⑥車両以外の交通手段を併用	常務取締役 長谷川稔	(先達成手段全て)
			軽油使用量 2024年度比 1%削減 現場事務所については、当面の間、使用状況の推移を確認する。	①エコドライブ10のすすめの徹底 ②省エネ運転の実行 ③車両・点検実施 ④エアー圧の適正化点検 ⑤省エネ型自動車への切り替え ⑤扇風機やヒーターを活用する ⑥無駄な積荷の削減 ⑦配車の最適化 ⑧ルート最適化	常務取締役 長谷川稔	(先達成手段全て)
		CO ₂ 総量計 (kg-CO ₂)			常務取締役 長谷川稔	
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量2024年度比1%削減	①分別徹底 ②空き缶・ボトルの自販機回収 ③裏紙使用で紙使用量の削減 ④使い捨て製品の使用や購入の抑制 ⑤詰め替え用の購入	専務取締役 長谷川富貴子	(先達成手段全て)
3	水使用量の削減	水使用量の削減	水使用量2024年度比1%削減	①節水表示 ②散水は必要最小限 ③洗車は高圧洗浄で節水 ④年に2回漏水点検 ⑤洗剤・石鹼を適量にする ⑥洗浄や清掃の作業手順の見直し	専務取締役 長谷川富貴子	(先達成手段全て)
4	化学物質の適正管理	科学物質使用量削減	適正管理	①適正管理	専務取締役 長谷川富貴子	(先達成手段全て)
5	製品の環境性能の向上及びサービスの改善	環境配慮提案件数	提案件数3件以上	①社内(環境)勉強会 ②環境提案の実施 ③資源の効率的利用	専務取締役 長谷川富貴子	(先達成手段全て)

9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価結果 並びに違反、訴訟等の有無

9.1 当社に適用される環境関連法規等の一覧

- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）
- ・家電リサイクル法
- ・自動車リサイクル法
- ・自動車NO_x・PM法
- ・フロン排出抑制法
- ・道路交通法（道交法）
- ・大和市環境を守り育てる基本条例

9.2 違反、訴訟等の有無

上記環境関連法規の遵守状況確認結果違反等はありませんでした。
又苦情・訴訟等はありませんでした。

10. 代表者による全体の評価と見直し・指示

現場事務所の移転に伴い、電気およびガソリン等の使用状況に変化が生じていることから、2026年度は移転後の使用実績を把握する期間と位置づけ、各担当者において電気使用量およびガソリン使用量を毎月集計・記録し、適切に管理していくこととします。

また、事務所の稼働状況や設備の使用状況を踏まえて使用量の増減要因を確認し、電気や燃料の無駄な使用がないか定期的に点検するとともに、空調設備の適正な使用や不要な照明・電気機器の電源管理など、日常業務で実施できる省エネルギー対策を継続してまいります。

今後は、これまでの取り組みによって得られた成果を維持・向上させるとともに、環境負荷の低減と持続可能な業務運営の実現に向け、引き続き全社的な環境意識の醸成と実践的な取り組みを推進してまいります。